

平成26年度 見直した主な施策

(資料1-2 「平成26年度当初予算の主な施策」の再掲)

(単位：千円)

局部名	事務または事業名	事業費 ( )内は前年度	主な内容												
保健福祉局 高齢障害部	老人クラブ育成 【サマーレビュー】	17,253 (17,444)	会員数の増加を促進するため、会員数の多いクラブに対する補助金額を増額 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>30人未満</td><td>19,200円</td></tr> <tr><td>30～50人</td><td>57,600円</td></tr> <tr><td>51人以上</td><td>57,600円+ (会員数-50) ×200円</td></tr> </table> <span style="font-size: 2em;">⇒</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>30人未満</td><td>19,200円</td></tr> <tr><td>30人</td><td>50,000円</td></tr> <tr><td>31人以上</td><td>50,000円+ (会員数-30) ×500円</td></tr> </table>	30人未満	19,200円	30～50人	57,600円	51人以上	57,600円+ (会員数-50) ×200円	30人未満	19,200円	30人	50,000円	31人以上	50,000円+ (会員数-30) ×500円
	30人未満	19,200円													
	30～50人	57,600円													
	51人以上	57,600円+ (会員数-50) ×200円													
	30人未満	19,200円													
30人	50,000円														
31人以上	50,000円+ (会員数-30) ×500円														
高齢者いきいき健康園芸 【サマーレビュー】	0 (1,574)	対象が少数で趣味的要素も強く、市民農園など類似事業を実施している状況を勘案し、H25末をもって廃止													
ことぶき大学校運営 【サマーレビュー】	28,645 (29,338)	学科ごとの応募状況を考慮し、H26から定員数を見直し 福祉健康学科 2→3クラス (定員60人→90人) 園芸学科 2クラス (定員60人) 変更なし 美術学科 2→1クラス (定員60人→30人) 陶芸学科 2→1クラス (定員60人→30人)													
知的障害者(精神障害者)生活ホーム開設準備費・世話人代替費 【サマーレビュー】	0 (840)	障害者総合支援法に基づく施設(グループホーム)の開設を促進することや他政令市で同様の補助制度がほとんどないことから、H25末をもって補助制度を廃止													
障害者就労支援 パソコン講座	0 (933)	特別支援学校等で同様のカリキュラムを実施していることからH25末をもって廃止													
こども未来局 こども未来部	定時制・通信制教育 振興会補助	0 (792)	社会情勢の変化等に伴い通学する理由が多様化し、補助効果が低下しているためH25末をもって廃止												
環境局 環境保全部	ぜん息児水泳教室	0 (3,096)	定員割れや参加者の固定化に加え、民間に同様の教室があることからH25末をもって廃止												
	内分泌かく乱化学物質 調査	0 (800)	H10に高濃度の化学物質が検出されたことを受け、H11から市内5河川で実施してきた調査について、H13以降基準値を大幅に下回っている状況等を勘案しH25末をもって休止												
環境局 資源循環部	自転車修理再生・ 再生品展示提供業務 【サマーレビュー】	0 (10,637)	民間リサイクル店が増加してきたことなどから、H25末をもって自転車修理再生・再生品展示提供業務を廃止 再生品展示提供 北リサイクルプラザ、リサイクルバンク(緑区役所)												
経済農政局 経済部	ユースホステル管理運営	0 (40,460)	H26.3月末をもって廃止 跡施設は、民間事業者の負担により整備・運営 整備内容：宿泊施設、レストラン、天然芝生グラウンド、オートキャンプ場など H26：工事、一部運営開始												
都市局	動物公園管理運営 (遊園地)	21,783 (113,552)	H26.5月末をもって遊園地を廃止 跡地は、子どもたちが動物とふれあい体験できる場としての再活用												